



Joyful Naturalist

Joyful Naturalist は「鶴見川源流ネットワーク」の通信から「特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク」の情報誌に生まれ変わりました。

Contents

Topics *サルビア交流2006
*丸山橋整備状況と生きもの調査結果
*鶴見川水系河川整備計画

NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
NPO法人鶴見川源流ネットワークとして推進しているプロジェクト活動の紹介です。

鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
鶴見川源流ネットワークとして連携している諸団体から依頼されて広報するページです。

7月、8月の活動報告

9月、10月の活動予定

No.153

源流野外談話室は200回



第2日曜日午後、見晴らし広場にコーヒーの香りが流れ、源流作業に集うナチュラルリスト仲間を励ますみんなの「野外談話室」。烈夏・快晴の8月13日午後。その「小山田緑地野外談話室」が200回の記念日を迎えました。しかし当日は、「記念日の挨拶をしよう」という前日までの約束を私を含めスタッフ全員が見事に忘れ、いつもの談話室になってしまいました。源流各地の仕事場から滝の汗で見晴らしに集まった仲間たちは、休む暇なく「エコパッチの草刈!」、「津保沢の作業!」、「見晴らし広場南斜面のオオブタクサをいま刈っておかないと秋のススキの風景が台無し!」と、さらなるボランティア作業で丘の拠点に散ってしまい、記念どころではなかったのです。

野外談話室の開店は、まだ小山田緑地が開園する以前、1989年9月24日の正午。店主は、当時、「町田の自然を考える市民の会」の事務局担当だった玉城さんでした。以来17年。かわらず源流ファンを励まし、スタッフたちの保険代も支えて、談話室は現在にいたりました。いまは源流自然の会の女性たちに支えられ、まもなく次世代に引き継がれるべき時代を迎えています。

その日の夜は、源流と河口の子どもたちの交流イベントの反省会。その賑やかな席の片隅でようやく小さな乾杯とあいなりました。200回を支えたすべての皆様に万感をこめて乾杯!

【岸 由二】